

令和八年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

小 論 文

中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 書道専攻

注意事項

- 一 時間は六十分です。
- 二 解答は、すべて別紙解答紙の指定の箇所に記入してください。
- 三 解答紙には、必ず受験番号を記入してください。

〔一〕 次の文章を読み、後の問いに答えてください。

著作権の都合上、掲載しておりません。

※出典…「書写書道教育要説」 久米 公著 萱原書房 三〇八ページ～三〇九ページ

※出題の都合上、文章を一部改変しています。

(問) 文中では、臨書の学習指導のあり方について述べられています。そこで、文中において、臨書の学習で大切にしなければならないと述べられているキーワードを使用しながら、古名跡名とその筆者名を挙げ、その古名跡の臨書をあなたが自身が行う際に、大切にしたいと思うこと、考えていることを四〇〇字以内で述べてください。

〔二〕 次の文章を読み、また図版に掲げた書作品を鑑賞して以下の問いに答えてください。

図版①^{※1}富岡鉄斎作「白居易問鶴詩」からは、図版②【 A 】作「題昔邪之廬壁上」の書風の影響が見受けられま

す。【 A 】は中国清朝時代に活躍した文人で、揚州八怪の中核として詩・書・画に才能を發揮しました。彼の作品にみられる金石趣味と強烈な自我は、後の碑学派の先驅をなした斬新な書として高い評価を得ています。

(問1) 文中の【 A 】にあてはまる人名を答えてください。

(問2) 図版①と図版②に共通する書体を考え、その書体の代表的な古名跡名を四つ答えてください。

(問3) 図版①と図版②から、文字の造形や運筆のリズム、書風に表れた個性について考えをめぐらしてください。その上で、図版①の作品が、図版②に見られるどのような特徴から影響を受けて発展したものかについて、あなたの考えを四〇〇字以内で述べてください。

図版① 富岡鉄斎作「白居易問鶴詩」鉄斎美術館所蔵 『鐵齋の書』新潟大学野中吟雪教授退任記念事業実行委員会より
転載)

図版② 【 A 】作「題昔邪之廬壁上」東京国立博物館所蔵 『書学体系 碑法帖篇 第四十三卷』同朋舎出版より転載)

※1富岡鉄斎

明治・大正時代に書・画・学問の文人世界に身を置き、我が国近代を代表する芸術家として名高い。



図版②

「A」作

「題昔邪之廬壁上」

東京国立博物館所蔵



図版①

富岡鉄齋 作

「白居易問鶴詩」

鉄齋美術館所蔵